

主催：立命館大学環太平洋文明研究センター

共催：WAC Japan

特別講演会

2013年11月11日（月）18：00～19：30

立命館大学 衣笠キャンパス 学而館2階・研究会室2

メキシコ東南部の完新世古生態学—成果と課題

Holocene paleoecology of southeastern Mexico: facts and challenges

ジェラルド・イスレーベ教授

Prof. Dr. Gerald Islebe

(国立メキシコ南部開発研究所)



現在、来日中のメキシコの古環境復元の第一人者による花粉分析に基づく中央アメリカの古環境復元に関する最新研究成果の講演です。英語による発表ですが、日本語通訳がつきます。
通訳：北川淳子氏（国際日本文化研究センター：花粉分析）

立命館大学環太平洋文明研究センターは今年4月に新設された新しい研究組織です。「環境と文明のあり方を根本から問い直し、環太平洋地域の災害と文明の興亡を解明する」のが目的です。人類学、環境考古学、地理学、考古学の研究者からなる研究組織です。

立命館大学へは、市バス 50・205(京都駅から)、55(四条大宮から)、15(三条京阪から)などで、終点「立命館大学前」下車

立命館大学環太平洋研究センターHP
<http://www.ritsumei.ac.jp/research/rcppc/>
お問い合わせ先：kyt21175@lt.ritsumei.ac.jp
(矢野健一)

